

日医発第462号(地Ⅲ72)

平成24年 8月 7日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

横 倉 義 武

平成24年度食生活改善普及運動に対する協力依頼について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、厚生労働省では、国民一人ひとりの食生活改善の重要性について理解を深め、日常生活での実践を促進するため、9月1日(土)から9月30日(日)までの1か月間、実施要綱に基づき、種々の行事等を全国的に実施するとして、本会に対しても協力依頼がありました。

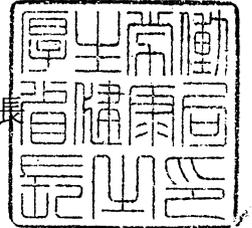
本年度の運動の重点活動は、健康日本21の重点プロジェクトであるすこやか生活習慣国民運動においてテーマにとりあげた「野菜不足の解消」としております。

食生活改善普及運動は、都道府県、市町村等が中心になって実施するものでありますが、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、本普及運動の実施にあたりご協力いただきますとともに、貴会管下郡市区医師会等に対しましても、周知、協力方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

健発0730第2号
平成24年7月30日

社団法人 日本医師会 会長 殿

厚生労働省健康局長



平成24年度食生活改善普及運動に対する協力依頼について

近年、生活習慣病の増加が国民の健康面における重要な課題となっており、これらの疾病の発症と進行を防ぎ、健康寿命の延伸を図るためには、生活習慣の改善、とりわけ食生活の改善が重要な課題になっている。

このため、国民一人ひとりの食生活改善の重要性についての理解を深め、その主体的な取組を促すことを目的に別添の要綱に基づき本運動を実施することとしたので、それぞれの地域の特性を勘案の上、効果的な運動の推進が図られるよう御配慮願いたい。

また、本年度の運動の重点活動は、「健康日本21」の重点プロジェクトであるすこやか生活習慣国民運動において適切な食生活のテーマとしてとりあげた「野菜不足の解消」としたので、貴団体においても、本運動の推進について特段の御配慮願いたい。

平成24年度食生活改善普及運動実施要綱

1 名称

平成24年度食生活改善普及運動

2 趣旨

世界有数の長寿国となったわが国では、生活習慣病の発症や進行を防ぐとともに、単なる長寿ではなく健康寿命を延ばすことを目指していく必要があり、そのためには、生活習慣の改善、とりわけ食生活の改善が重要である。

平成22年国民健康・栄養調査結果によれば、野菜の摂取量については、成人で平均282g、20歳代では平均233gと「健康日本21」の目標値である350gには及ばず未だ改善がみられない状況にある。また、世帯の所得が少ない場合、野菜の摂取量が少ないという新たな課題もみられた。

このため、国民一人ひとりが改めて食生活改善の重要性を認識し、理解を深め、日常生活での実践を促進するため、平成24年9月1日（土）から30日（日）までの1か月に本運動を展開し、種々の行事等を全国的に実施するものである。

3 実施機関

厚生労働省、食生活改善普及運動の趣旨に賛同する都道府県、政令市、特別区、市町村並びに関係団体

4 実施期間

平成24年9月1日（土）～30日（日）

5 重点活動の目標

「健康日本21」の数値目標に掲げられている「野菜の摂取量の増加」については、生活習慣病の予防に効果があるとされているが、現状と計画の目標値との間には乖離がみられる。特に個人の行動変容に向けた効果的な取組を促して行くとともに、時間的または精神的にゆとりのある生活の確保が困難な人や、健康づくりに関心のない人も含めて改善が図られるよう、社会環境を整備していくことも必要である。

そこで、幅広い企業・団体連携を主体とした取組「Smart Life Project*1」のアクションの一つである「健康寿命をのぼそう」の下、「野菜不足の解消」を目標に取組を行う。

6 実施方法

(1) 厚生労働省

重点活動の目標に関する効果的な運動が全国的に展開できるよう、政府公報等の活用を図るほか、関係機関との連携の下、食生活改善に関する普及啓発を図るとともに、「健康寿命をのばそう」の啓発メッセージを取り入れたポスターによる普及啓発を図る。

(2) 都道府県、政令市、特別区及び市町村

食生活改善普及運動の趣旨に賛同する都道府県、政令市、特別区及び市町村は、関係部局及び関係団体との連携を密にしつつ、それぞれの地域の実情に応じ、野菜摂取に関するわかりやすく行動変容につながりやすい行動目標や普及啓発などの企画により重点活動の目標に関する効果的な運動を展開する。特に企業等との連携を積極的に図り、野菜を購入しやすい、摂取しやすい環境づくりに配慮した取組を推進すること。

また、同時期に実施する「健康増進普及月間」と連携を図り、総合的な推進を図る。

* 1 「Smart Life Project」については、専用ホームページに掲載しているので参照されたい。

(<http://www.smartlife.go.jp/>)